

浅賀あゆみさんの作品



与える人

テレビで観た話なのでご存知の方もいるかもしれませんが。芥川賞作家の小野正嗣さんと、そのふるさとに暮らすご家族と人々を綴った番組でした。小野さんのお兄さんは46歳で脳腫瘍を患い亡くなられています。お兄さんは勉強も運動も苦手で、要領が悪く怒られてばかりいる人だったので、小野さんはお兄さんを「奪われている人」と思っていたそうです。しかし後に、お兄さんは「与える人」だったことを知ったといいます。お兄さんが亡くなった時に知らない人たちが沢山お弔いに来たそうです。聞けば皆さん「お兄さんに本当に親切にしてもらった」「良くしてもらった」と感謝の言葉を述べられたそうです。お兄さんは人々を歓待してきた人だったと知ったそうです。また、ご近所さんでシーちゃんというお爺さんが出てきます。小さい時から家族のようにお付き合いしていたそうです。小野さんが東大から大学院に行くときに「お前まだ勉強するんか。相当頭悪いんじゃないのう。大学出て、まだ学校いかにといけんのか。そんなに学校行かんとといけんのは、頭が悪い証拠じゃ。」と言ったそうです。その思い出ばなしをしながら、シーちゃんと

小野さんとお両親が大笑いしていました。本質を突いた、粹な人だと思いました。

私たちはしょうがいしゃや高齢者と括った言い方をしています。そしてその人たちを「助けが必要な人」として見がちです。何かを奪われたり、失った人と見がちです。でも見方を変えると、むしろ人の本質を見抜いたり、鋭く感じとっている人かもしれません。シーちゃんはお兄さんが余命宣告を受けてから、毎日お兄さんの大好きなスポーツ新聞と缶コーヒーを届けていたそうです。見返りを求めず他者の心の内を想像する行為、それが人を歓待する行為。支援者として何かをすることの前に、相手の心の内を想像し歓待することができたら、支援という仕事はとても自分が満たされる仕事になるかもしれません。小野さんはお兄さんから沢山貰ったので、自分ばかり貰ってしまう罪悪感があるそうです。だから自分も与えたいと思うそうです。仕事としての関係性で、そこまでのことができるかわかりません。しかし本来、人と人との繋がりとは、そうしたものでありたいと私は思います。(理事長 遠藤良子)

相談支援エプシロン

Tel 042-505-7021 Fax 042-505-7669

大切なことを胸に

この春、国立市内のひとつの相談支援事業が閉所します。閉所にあたり、エプシロンでも数名の利用者さんを引き継がせて頂くことになりました。



利用者として息子が中学1年の時から5年間お世話になってきた私たち家族にとって、なおさら閉所は残念でなりません。

小学校を卒業するまで離島に住んでいた息子は、障害福祉サービスを利用したことがありませんでした。放課後デイの利用のため受給者証を発行してもらうべく市役所に出向き、ケースワーカーの方に計画相談とセルフプラン、どちらにしますか？と聞かれました。右も左

もわからなかった私は計画相談を利用したいとお願いし、こちらの相談支援事業所を教えてくださいました。

相談員の方は、私のまとまりのない話を急かすことも止めることもなく傾きながら聞いて下さいました。私は心からほっとして、更に話が止まらなくなったのを覚えています。

しばらくして自分がエプシロンで相談員として勤めることになり同業というご縁もできましたが、息子の計画相談は、私からお願いして継続して頂きました。息子の小さな成長と一緒に喜んで下さり、将来の姿を思い描いては心配ばかりしていた私に寄り添い、支えて下さった存在でした。

私はこの事業所の相談員の方々から、親として、いつでも相談できる場所があるという安心感や温かさをもらい、相談員として真摯に丁寧に利用者さんに向き合う姿勢や地域のネットワーク作りの大切さを教えて頂きました。名残惜しさのある春となりましたが、いただいたものを大切に、微力ながら丁寧に利用者さんと関わっていきたくと心新たに思っています。(吉埜)

放課後等デイサービス

くじらっこ

Tel/Fax 042-505-4661



同じ「人間」として

私は2年間という短い間ではありましたが、くじらっこの利用者さんとの楽しい時間を過ごす事ができました。数え切れない失敗をし、その度に一緒に働くスタッフの皆さんに助けて頂いて、なんとかがんばる事ができました。正直、「もっとこうしておけば良かった…」と後悔している事もあるのですが、一番に感じている事は「楽しか

った」という事です。

「のっきー！」と名前を呼んでくれて一緒に遊び、その関わりの中で、笑ったり・怒ったり・泣いたりしていました。感情表現が豊かで素直な子供たちと接して改めて、しょうがい者というより、まず同じ一人の「人間」であるということを実感しました。

大切な事を再認識させてもらい本当に感謝しています。

4月からは、くじらハウスに異動となります。一人の利用者さんに対しての支援をより丁寧に、必要なもの・求めているものが何であるかを共に考え、思いやる心をもって仕事に取り組んでいきたいと思います。(一之木)

居宅介護等事業 くじらハウス

短期入所 おにぎり

Tel 042-505-7034

Fax 042-505-7035

同じ目線に立って

新しい年度を迎えました。私自身はくじら雲、かいゆうと、働かせて頂いて20年の月日が経とうとしています。いろんな思い出が自分の中に溢れていて、フッと気持ちが沈みがちな日は、あれやこれや思い出して、気持ちを整えています。

毎日ヘルパーは、いろいろな利用者の方と時間を過ごしていますが、一緒に散歩などしていると、それぞれの感性に驚いたり、癒されたり、感動したりの連続です。



水たまりの中のアメンボをジッと眺めてニコニコしている横顔や、流れる水に陽射しがあたってキラキラしているのと同じくらいキラキラした目で見ていたり、それをそっと手で触って水の動きを楽しんでいたりと...

転がっている石や、砂や葉や枝、世の中に存在する全てのものが皆の遊び道具になってしまいます。

その人の目線に立って物事をとらえると、気持ちがわかって少しだけでも心が通い合った気持ちになります。それは、私たちの仕事の中でとっても大切なことなのではないかなと感じています。

皆さんと過ごさせていただく、この1年もどれだけの発見や感動があるのかな...(永井)

日中一時支援事業(15:30～土日祝休み)

たまりば宙(そら) Tel/Fax 042-843-0443

リニューアルオープン！



当面の間
たまりば宙営業日
12:00～15:00
の提供です



試着用に
鏡をこちら
へ移動
しました。



カフェっぽい
看板～



楽しいロゴも
作りました!!



コーヒーは淹れたてで
すよ～
お気持ち100円からに
なります。



日中一時の方たち用の
棚です。わくわくが詰
まっていますね～
なんでしょうかな??



洋服も見やすくなりました



着物の古布でイケアさ
んが作ってくれました。



昔の面影も残しつつ。。



入ってすぐ目の前の棚
には手作りのお品物が
並んでいます。
石井さんお気に入り。



お惣菜やパンの販売も
あります!!

青い空にぽっかり浮ぶ白い雲。心あたたまる空間。
たまりば宙が、皆さまを待っています。

そして5～6年前にお世話になっていた私、望月が宙
に戻ってきました。

どうしてもここでお仕事をしたく、石井さんに連絡しま
した。やっぱり笑顔で仕事ができ、楽しいです。

日中一時の利用者さんたちが日々成長している姿を
見て刺激を受けております。

もっとがんばれる、もっと何かできる、何かをしたい。
そんな思いが身体中に膨らんでいる自分がいます。

人生100年時代。

たまりば宙と共に、よろしくお願い致します。(望月)

宙のリニューアルはイケアさんに法人登録ををお願い
しました。何度もミーティングを重ね、イメージを
お伝えし予算と相談しながらのリフォームでした。
こだわったのは日中一時の方たちの棚、色々な物が入
れられて、なおかつすっきりと、要望通りです。
洋服をかけられる棚にもこだわりました。かけられて
見やすく。こちらも要望通り。
古布のガーランドや額、たまりば宙の文字、こちらも
イケアさんが作ってくれたものです。
お客様の評判も上々です。前のごちゃっとした宝探し
が出来そうな空間もよかったけど、きれいで広くなっ
た(広さは変わってないですが…)宙もいいとおっ
しゃってくれています。
洋服のお直し(一般)の相談も月一回(月初めの水曜
日)受け付けております。どしどしお持ちください。
かいゆうの利用者さんのお洋服のお直しや、ご相談は
随時受け付けております。
宜しくお願いします。

★職員の入退職者★

退職

小野寺 剛 2022.12.31
佐々木 美海 2023.1.15
富永 誠二 2023.3.31
宮澤 有里 2023.3.31

吉川 恵子 2023.3.31
石川 綾子 2023.3.31
草刈 僚 2023.3.31

入職

五明田 哲也 2022.12.1
中村 尚登 2023.1.26
楠瀬 朝子 2023.4.1
遠藤 紗羅 2023.4.1

八木 淑音 2023.4.1
佐藤 まつり 2023.4.1
丸山 晴奈 2023.5.1



Group Home

はじめの一步ハウス

素敵な出来事

先日入居者さんの一人と、じっくり話す時間がありました。いろんな事柄に「最近どう?」。お話を聞く時間でした。その中で出てきた一つに、イベントがやりたい、それも自分一人ではなく皆でイベントがしたいんだ。でも、人がいないし、コロナだし…。と答えてくれました。

ああ、本音だなあ。そう思わせてしまってい



るんだなあ。岩谷は切なくなりました。

とある祝日の日、皆でサンドイッチとパフェを作りました。

一步の凄腕シェフのおかげでとても素敵な料理が並びました。

皆が食べているのを見て、シェフはあふれんばかりの笑顔でした。

やれてよかったね、と声掛けしたら、当然じゃん?と笑顔で返ってきました。とても素敵な「当然じゃん?」でした。

素敵な思い出を今年も積み重ねていこう。そんな風に岩谷は思いました。(岩谷)

ミラハウス

よろしくお願いします

12月末からミラハウスで働かせて頂いています、磯部佑紀です。宜しくお願いします。未経験ですが3ヶ月が経ち、まだまだ出来ないことや己のふがいなさを感じる毎日です。しかしながら、スタッフの方や、なにより利

用者の方とのコミュニケーションに、より少しずつではありますが出来ることが増えていると感じています。特に利用者の方とのコミュニケーションはモチベーションにもつながっており、日々の楽しみでもあります。



まだまだ未熟ではありますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。(磯部)

すうえる

Eテレに魅せられて

(桜吹雪舞う三十日に記す…)Eテレが誇る三大番組『おかあさんといっしょ』『みつけた』『いないいないばあ』の視聴者は(子育て世代だけとは限らないよね)、毎年2月になると「今年は誰が卒業するのか?」不安にかられ、気持ちが揺れてしまいます。事前の予想に反して、「歌のおにいさん」「すいちゃん」の告知がなかったことに、ほっと胸を撫で下したと同時に「まことお兄さん」「うーたん」の卒業を告げられ、奈落の底に突き落とされました(まさかまさかでSNSがトレンドに)。でもね、交代したばかりと思っていた「まことお兄さん」が4年間、うーたん(声=間宮くるみ)に至っては20年も務めていたのですね、どうもありがとう!「はるちゃん」と「ゆきちゃん」も、さよならじゃなくてまたね!

さて、発表から卒業までの1か月、WBCも高校野球も見ず、ひたすらこれらの番組を見続けた私は、「うーたん」のぬいぐるみとオモチャを購入し、「まことお兄さん卒業記念ムック本」も予約し、2月の月歌だった『キミにはくしゅ!』にあつと驚く仕掛けがあったことが判明し

た「3月最終週の月曜日7時58分」の歴史的瞬間に立ち会うことができました。本当にありがとう!

思えば、今の仕事に就いて初めて、こども番組の原点でもある『おかあさんといっしょ』を見るようになりました。GHの入居者さんが見ていたからです。最初は単純にEテレをつけていたに過ぎなかったのに、しだいにEテレの所謂「こども番組」が楽しい、と思うようになりました。ごまかしがきかないからなあ。全ての点においてレベルが高い。『おかあさんといっしょ』については、最低もう1年、今のチームで見たかったのですが、ついでに言うと、22代歌のおねえさんの卒業の年に、私も「かいゆう」卒業だったりして…。可能性大。最後に卒業と言えば、『おはよう日本』のお天気キャスターの近藤奈央さんは、もう1年見られそうなので、良かったワン。私が「今日の天気」を把握できていたのも彼女のおかげだったのですね、今気づきました。夕方『首都圏〜』の市村さんが3月いっぱい他局に移ったのは激痛でしたが…。23時なんて、寝ているモン!(坂本)



メゾン・ド・歩人

通年行事



大学通りの夜桜

母と娘で通年行事にしているお花見、今年は雨続きで出来るかな？とと思っていましたが、かろうじて晴れ間が出た、とある日に無事、遂行する事が出来ました。

毎年、お花見だけは欠かせない。そう思っているのは娘だけでしょうけど、母が作ってくれるお花見弁当。日本酒とビール、毎年お

なじみの公園。そのルーティーン。そして恒例の愚痴大会。外で飲むお酒と悪口ってなんでこんなにおいしいのでしょうか？

ここ何年かは公園内にシートを敷く場所も同じになってきました。毎年毎年同じ場所同じ景色。それが良い、と思える。そんな娘。付き合ってくれている母。ありがたし。

もう一つの通年行事は母と娘の旅行。こちらも毎年毎年同じ行先、同じ宿泊場所、欠かせないお寺参り。そして恒例の愚痴大会。温泉につかってから飲むお酒と悪口ってなんでこんなにおいしいのでしょうか？毎年毎年同じ場所同じ景色。それが良い、と思える。そんな娘。付き合ってくれている母。ありがたし。(小野)



長野善光寺の桜

来歩ハウス

変わってもいい

10代の頃は頭が固く怖がり、3月4月の学年や学校が変わる時期は好きではなかった。初めて会う人に会う前に、想像力たくましく、あたふたする性格は今も変わらない。来歩で働き始めて5年の歳月が流れ、

同じ場所にいても、まったく変わらないことは少ないと気付く。3年前より晴れやかな気持ちで三中の桜を眺める6度目の春。
(丸山)



とれいる

よろしくお願いします

はじめまして、今年の1月下旬に新たに入職しました中村尚登と申します。高齢者施設にて現場や相談業務に従事しておりました。充実感とやりがいを感じてはいましたが、できることなら終わりに向かっての交流・関係よりも未来へ続く交流・関係を持ちたいと思うに至り、実習でお世話になったしょうがいしゃ福祉の門を



たたきました。

各人のしょうがい特性やそれまで歩まれてきた背景やご家族様を含めた様々な思い等々、先輩方にご指導を頂きながら日々新たな経験と勉強の毎日を送っております。

同じ福祉業界ではありつつも、似て非なるもので、失敗をして迷惑をかけてしまう事もありますが、チームワークを大切にしながら一步一步成長し、利用者様の安全安心で楽しい生活の一部になりたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。(中村)

みんなを「アート」でつなぐ

ボタンアート展

くじら工房の作品が
ボタンアートの展覧会にて
展示されます！



ボタンアートとは、しょうがいしゃの方と周りにいる方、みんなを「アートでつなぐ」取り組みをしているグループです。くじら工房のアトリエ活動に講師として来ていただいている三浦敦子さんが活動しています。

今回、わたしたち「くじら工房」と「くにたち夢ファーム Jikka」さんとのコラボでできたTシャツや絵画、ぬいぐるみの展示と販売を行います。

カラフルな作品に会いに、ぜひいらしてください！

日時：5月20日(土)～
5月28日(日)
13:00～18:00
*最終日17:00終了
*22日(月)23日(火)休み

会場：アーティスティックスタジ
オ LaLaLa
東京都立川市柴崎町4-3-2
090-2564-3198

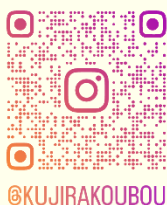


くじら工房のアトリエの活動で絵を描いています。敦子さんにアドバイスをもらいながら、個性的で素敵な作品がたくさん生まれました。



ボタンアートさんから依頼されて、小さな布に絵を描いています。これを「くにたち夢ファーム Jikka」の方とボタンアートさんがTシャツに縫い付け、商品となります。まさにアートを通した繋がりが生んだ作品です。

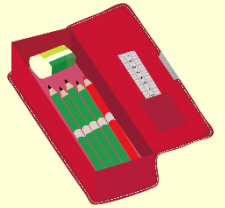
くじら工房インスタ
グラムやっていま
す！制作の様子も
発信しています♪



くにたち夢ファーム Jikka とは、DV 被害や生活困窮女性のための自立支援を行っている団体です

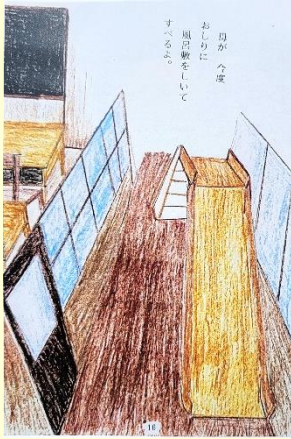
ポニー水上自伝 5

もめんのように



緑成会の隣に
小平養護学校がありました。

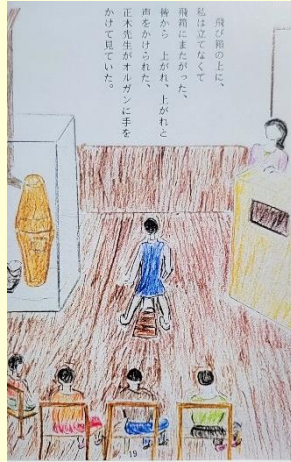
ごあいさつの時
私は 首を
上げるくせがあった。



母が 今度
おしりに
風呂敷をしいて
するよ。



ゆき子ちゃんが
学校の様な
大きな
ロース、ハムを
食べたい。



飛び箱の上に、
私は立てなくて、
飛箱にまたがった、
皆から 上がれ、 上がれと
声をかけられた、
正木先生がオルガンに手を
かけて見ていた。

『もめんのように』作品紹介

1990年頃から30年にわたって、ポニー水上が自らの半生を絵と文で表現した作品集。一昨年製本され、上巻・下巻の二冊からなる。昭和の時代に遅く生きる姿に、心を打たれる読み応えたっぷりの作品。



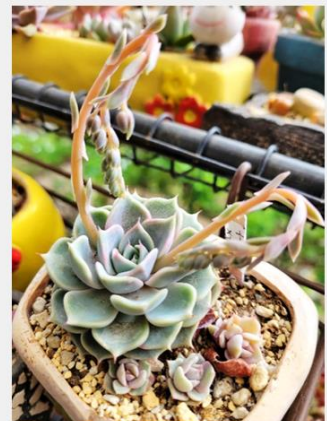
咲くとこんな感じ



お多肉さま日記NO 10 今回はお多肉様の花についてです。多肉植物も春には花を咲かせます、暖かくなってくる3月中旬ごろから花芽が上がってきます。夏になるまで楽しめます。開花は多肉にとって体力を使うそうで、形が悪くなったり葉が小さくなったりするようです。種を取ったり、交配させたりしない場合は切ってしまうのがベストです。もちろん私も切って花瓶にさして楽しむ派です。いつか自分のオリジナル交配とかやってみたい夢はありますが…まだまだ先ですね～(^_^A 小野肉 多呂子



まだ花が開いていません



こんな風に花芽が上がってきます。

2023年4月24日

新任研修報告

20歳の新卒入職者から40代の中途採用者まで、新任研修と言っても多様なメンバーが集まりました。配属先もばらばらで、それぞれが不安と希望を抱えてのスタートを切っています。部署を越えて、同じような立場同士が話せたことは良かったみたいで、同期会ネットワークを作る話も出ていました。(事務局長 佐藤)



新任研修の様子



どうぞよろしくお願いします！

昨年 12 月以降入職した正職員及び常勤アルバイトの方々(参加者 7 名)

内容

1. 自己紹介等
2. 遠藤理事長から法人の沿革、法人理念・法人指針・行動指針・行動規範について
3. 池田室長から権利擁護・虐待防止の取り組みについて
4. 佐藤事務局長から、就業規則(特に休日休暇関係)について
5. グループ分けの上、質問や感想、フリーディスカッション

2022年度ストレスチェックの報告と委員会からのお知らせ

安全衛生委員会 より

2022年度のストレスチェックの回収率は84%、高ストレス者は14.3%でした。

高ストレス者は業界平均に比べやや少なく、男女別では女性の方が高ストレス者が多い結果となっており、高ストレス者の内希望者には、産業医によるオンライン

面談を行いました。今後とも職場環境や安全衛生に関する事項に留意し、安全衛生管理活動に寄与するよう努めます。

今年度は、委員会企画で「身体づくり講習会」として腰痛予防セミナー等のワークショップを年に4回行う予定です。第一回目は6月です。(くじら工房 三浦)

～ストレスチェック制度の目的～厚労省コラムより(ストレスチェック制度の効果的な実施と活用に向けて)

ストレスチェックに用いられる職業性ストレス簡易調査票は、事業者が労働者の意図しない形で職業性のストレス状況に関する情報を収集するためのものではなく、労働者が自身の職業性のストレス状況を把握することを目的として開発されました*2。こうした背景をもとにストレスチェック制度創設に際し、有識者からは、事業場独自の項目を設定する場合には、ストレスチェック制度の目的はうつ病等の精神疾患のスクリーニングではないことに留意して項目を選定する必要があることを示すことが適当との提言がなされています*3。

*2 労働省平成 11 年度「作業関連疾患の予防に関する研究」労働の場におけるストレス及びその健康影響に関する研究報告書 班長 加藤正明

*3 厚生労働省労働基準局安全衛生部「労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度に関する検討会報告書」(平成 26 年 12 月 17 日)